

第16回国際ソロプチミスト神戸東クローバー賞



受賞者 北村 広美氏

「多文化共生センターひょうご」代表



ご長男の障害に対する世間の無理解や差別の苦しい体験を経て社会福祉学を学び直す為に大学院に進学し、臨床教育学の博士号を取得され、22年間大学で人材育成と研究に携わって来られました。又、同じ障害を持つ患者や家族と連携し、法的制度の整備や社会の意識改革を目標に2000年に「ひょうごセルフヘルプ支援センター」を設立されました。現在は、あらゆる意味での差別に対し、当事者側と支援団体とを結ぶ役割を担い、この活動の意義を広く世間に紹介し、理解を深めてもらいたいと、講演や研究活動を行っておられます。

北村さんにクローバー賞

ソロプチミスト 在留外国人20年間支援



小笠原子会長（左）から表彰状などを渡された北村広美さん＝芦屋市で

国際ソロプチミスト神戸東（小笠原子会長）は15日、芦屋市内のホテルで、地域社会に貢献する県内の団体や個人をたたえる「クローバー賞」の表彰式を開催した。神戸市東灘区を拠点に在留外国人が暮らしやすい地域の実現に貢献している「多文化共生センターひょうご」代表の北村広美さん（56）が選ばれ、小路会長から表彰状などが手渡された。

「多文化共生センター」を設置。多言語で情報提供をしながら、外国人の保険、医療面など日常生活の相談窓口の役割を担った。また、地域で支え合う「多文化共生社会」の実現を目指し、在留外国人を約20年間支援してきた活動が評価された。

北村さんは「地道にコツコツと取り組んできたことが認められてありがたい。コロナ下だからこそ、地域や人との結びつきの大切さを改めて実感した」と話した。

【関谷穂】

外国人を支援20年

北村さんにクローバー賞

国際ソロプチミスト神戸東



クローバー賞に選ばれた北村広美さん＝ホテル竹園芦屋

社会貢献をたたえ、従事。現在は同センターの「国際ソロプチミスト神戸東クローバー賞」の表彰式が15日、芦屋市大原町のホテル竹園芦屋であり、20年にわたって日本で暮らす外国人支援に尽力してきた北村広美さん（56）が受賞した。

北村さんは、青年海外協力隊としてセネガルに3年間滞り、神戸大学で国際政治を学んだ後、2000年から神戸市東灘区の「多文化共生センター・ひょうご」で在留外国人の支援に

「多文化共生センター」を設立。多言語で情報提供をしながら、外国人の保険、医療面など日常生活の相談窓口の役割を担った。また、地域で支え合う「多文化共生社会」の実現を目指し、在留外国人を約20年間支援してきた活動が評価された。

北村さんは「地道にコツコツと取り組んできたことが認められてありがたい。コロナ下だからこそ、地域や人との結びつきの大切さを改めて実感した」と話した。

【関谷穂】

毎日新聞掲載

神戸新聞掲載